

「良きA型と言われるためにできること」

悪しきA型と言われる事業所の対極の事業所のこと？

下記事業所と反対の運営に努めている事業所が、「良きA型の条件」！

- ①継続的に収益の上がない簡単な、達成感のない仕事を提供し続けている。
⇒ディーセントワーク、やりがいのある仕事の提供、できれば社会経済に直結する達成感のある仕事の提供であってほしい。
- ②利用者の要望にかかわりなく、一律短時間雇用としている。
⇒障害者本人の希望など入念なアセスメントをもとに、人生設計も含めたA型利用計画であるべきで、本人の作業能力に合わせて、できるだけ長い時間働けるような体制づくりが望ましい。
- ③不十分な職員配置、施設環境で経費を節約し、サービス報酬費を賃金に充当している。
⇒サービス報酬費は福祉関係の人件費及び設備の経費に使うべきであり、利用者の賃金は作業収入で賄うことが原則である。収益の上がない仕事で、福祉関係の経費を浮かして賃金に充てることを運営の基本にすることは問題外である。
- ④助成金(特開金)が切れる時期に退職に追い込む
⇒労働関係の助成金はいくまで補完的なものと考えべきで、その助成金を運営の要とすべきではない。ましてや助成金の受給期限が来ることで、退職に追い込み、助成金目当てに新しい人を受け入れるなどはもってのほかである。

【私たちの望み～全Aネットの基本方針～】

1. 私たちは、利用者に対し、一人の人間として接し、その自己決定を尊重し、就労と地域生活を支援します。
2. 私たちは、利用者に働き甲斐のある仕事・達成感のある仕事を提供し、地域で生活をしていけるように最低賃金を保証します。
3. 私たちは、利用者に労働者としての権利を保障し、利用者の作業能力を育て、能力を伸ばす作業環境を提供し、障がいのない人と同等に活躍できる職場を提供します。
4. 私たちは、利用者に対して安全衛生環境の確保はもとより、物理的にも精神的にも働きやすい環境を提供します。
5. 私たちは、情報提供に努め、希望に沿って一般就労へ移行を支援します。
6. 私たちは、アセスメントを入念に実施し、利用に関しては利用者の希望を最大限尊重します。
7. 私たちは、これらの活動を確実なものとするために、常に提供するサービスの自己評価をし、公表し、事業の継続・発展に努めます。